

規格審査、困っていませんか？

AIですばやく規定文書チェック。



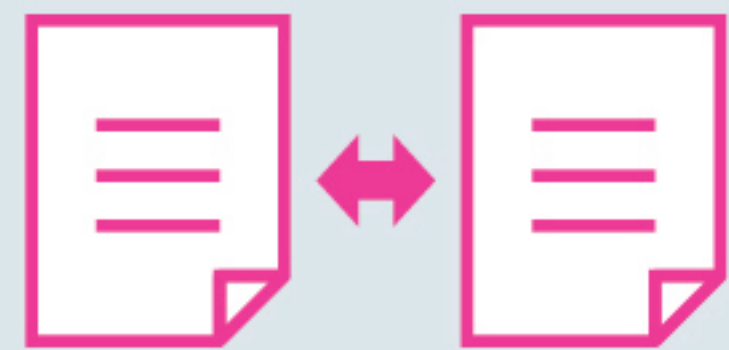
AI規格アセスメントシステム [アイセッサー]

Aissessor

Aissessorは、製造業を中心としたお客様の社内規定文書が、国際基準 (ISO) の規格文書にどの程度準拠できているかを確認することができる、短時間、かつ低価格での認証取得を実現するAI規格アセスメントシステムです。

Aissessorなら、何度でもチェックを受けながら文書を完成させることが可能です。

POINT
01



日本語で記述した社内規定文書ファイルをAIが自動で英語翻訳。
英語で記述されたISO文書との比較を行います。※Word、Excel文書に対応

POINT
02



比較結果は、各部 (Part) / 章 (Clause) / その合計としての全体 (Total)
3つのレベルの適合度スコアとして算出。

POINT
03



キーワード不足の箇所にはコメント付きでアドバイス。

対応規格
(2022年4月時点)

機能安全
ISO 26262:2018

ソフトウェア開発プロセス
Automotive SPICE 3.1

サイバーセキュリティ
ISO/SAE 21434:2021

【ディープラーニングで利用したデータについて】

このシステムはAIの先端技術であるディープラーニングが活用されています。特に今回は、大量のデータを利用した「事前学習モデル」と、それを国際標準に最適化する「ファインチューニング」と呼ばれる技術の組み合わせにより実用レベルのシステムをご提供することが可能となりました。尚、事前学習ではインターネット上で公開されている一般文書のみを利用し、また、国際標準に適應させるための学習ではISOの公開データのみを利用しました。尚、当システムは、複数のSentenceBERTモデルとGloVeモデルを組み合わせたものとなっています。一般的にファインチューニングにおいても学習用データが持つ情報が多いほうがより良い結果が得られます。そこで当システムでは抽象化要約技術やTriplet Loss技術などを併せて利用することで、少ないデータ量であってもファインチューニングの精度を向上させ、また表記の揺れに対する適應力を向上させています。